

みりよく再発見

13

六郷の神が宿りし一本桜



広大な牧野と青空を背景にたたずむ一本桜

わたしたちの心に温かく、しっかりと根を張る桜。春を迎えるたびに、日本人であることを確認できる桜——。久慈市内の桜は毎年、おおむね4月下旬に開花する。市内には巽山公園や夏井川の堤防など、市民の目を樂しませる場所が多く存在する。

その中で、知る人ぞ知る名木がある。山根町の奥深く、牧草地にたたずむ一本桜。樹齢はおよそ100年と推定されるヤマザクラである。

昭和27年、広大な官有地が牧野として特別開放され、「山根牧野農業協同組合」が組織される。当時、草木がぼうぼうに生い茂る状態を整備する中、唯一残されたのがこの一本桜であったという。

地元の人でも、なかなか満開を拝むことが少ないといわれるこの一本桜。独特の色濃く鮮やかな花弁を広げ、広い牧野と青空を背にして風に揺れる姿には、神の宿りを感じずにはいられない。

遠い山根六郷の春——。

春を待ちわびただけに凜と。たどり着く道の険しさに、ことさらにその英雄しさを感ずることだろう。

一本桜に畏敬の念を表し、あえて場所は明示しない。その姿は、自らの足で探し当てた者だけに——。

編集後記

財源確保のため、本号から毎月1日号に民間企業の広告を掲載します。▽2ページの子どもたちに「写真撮らして」って声掛けたら明らかに怪しげな表情。「市役所だよ」と名札を見せると信じてくれました。知らない人についていけないという教えは守られているよ(中村)うけど、複雑……。



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、応募ください。詳しくは、広報くじ担当(内線250)。



このみちゃん(10カ月)
(川貫) 宇部栄弥さんの孫

こなつちゃん(左・2歳7カ月)
しゅんすけ 駿介くん(右・11カ月)
(天神堂) 見年代由光さんの孫

